



静岡県立沼津商業高等学校同窓会
 〒411-0917
 静岡県駿東郡清水町徳倉1205
 TEL 055-932-5747 (FAX共用)

ごあいさつ



学校長
高田道雄

沼商同窓会の皆さま、こんにちは。この四月に笹原校長の後任として清水東高校より赴任いたしました高田道雄でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

日頃は本校の教育活動に、物心両面でご支援とご協力をいただき御礼申し上げます。

同窓会の皆さまには、同窓会育英基金をいただき、生徒のための奨学金や助成金に当てさせていただいております。また、昨年度はエアコン設置にご協力いただき、ありがとうございます。大変心強く思っております。

さて、学校の近況としましては、四月に新入生男子七八人、女子一二七人の二〇五人を迎え、合せて六五八人で新しい年を迎えました。五月一九日から二一日までは、沼商統一をテーマに「紫旆祭」が

行われ、生徒の若いエネルギーを感じさせる素晴らしいものとなりました。また、四月、五月には運動部の高校総体の地区予選、県大会が開催され、女子バレーボール部が東部で優勝、県大会で三位となり東海大会に出場し、ベスト8。女子ホッケー部も東海大会に出場しましたが、惜しくも全国大会出場はなりませんでした。弓道部は県大会団体七位。その他では、女子バスケットボール部(東部三位)、軟式テニス部、卓球部、陸上競技部が県大会に出場しました。また、六月からは、商業の各種競技大会が始まり、電算処理部が「情報処理競技会」県大会で二年ぶりに優勝し、七月の全国大会に出場、英文ワープロ部の部でも県四位と健闘しました。今後は競技会、各種検定と続きます。検定に関しては、昨年度は、全商三冠以上取得者が九三人と、四年連続県下公立高校でナンバー1になりました。昨年度の進路実績は、就職八九人、進学一〇三人でした。就職に関しましては、三年前の米国の

サブプライムローンの金融危機に端を発した世界同時不況に加え、三月二日に東日本大震災があり、未曾有の大被害を受け、厳しい状況でしたが、沼商では、三月末にはなんと一〇〇%の内定となりました。

今年の三年生の就職希望者は、昨年の一・五倍の生徒が希望している状況です。本年度も、一〇〇%の就職内定を目指し頑張りたいと思います。同窓会の皆様にも是非ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、「沼商同窓会」が、益々繁栄されますことを御祈念申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

沼商に赴任して



教頭
児玉一淑

本年度より、沼商に赴任しました教頭の児玉一淑と申します。同窓会のみなさんよろしくお願ひします。

私は、商業科の教員として二十五年目になります。伝統ある沼商に勤務することを大変うれしく思うとともに、その責任の重さを痛感しております。

沼商の特色ある教育として、資格取得で県下一位の実績があります。生徒たちの様子を見ますと、資格を取ることで達成感を得て、自信へとつなげています。また、その分野の知識や技術を習得するだけでなく、主体的に目標を定めて、計画を立て、努力する資質を育んでいます。大変素晴らしいことだと思います。さて、沼商で、教師が生徒を指導する面でよく耳にする言葉として、「沼商生として自覚を」というものがあります。このような言葉で指導できるのは、「自主・友情・進取」の校訓のもと、伝統校ならではの人材育成がしっかりと根付いているからだと思えます。母校に対して誇りを持ち、学校の一員として自覚を持たせることは、勉強や部活動での学びと同じくらい大切なことだと思います。沼商に赴任して、わずか三ヶ月ではありますが、このような伝統に基づいた沼商教育を受け継いでいくことが私の大きな使命と感じています。

本校のさらなる発展にご支援をいただきたいと思います。



徳倉校舎に建つ
友愛の像

「丸子の杜」…1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

同窓会総会・懇親会に 参加してみませんか



太田きく江
(高一六回)

昭和四二年一〇月一九日沼商が
女子校舎より徳倉校舎に移転して
早や四〇余年。母校沼商は明治三
二年四月、沼津市三枚橋の蓮光寺
を仮校舎として開校され、百十数
年になります。

今これを書いてる私自身も学
校の歴史には疎く会員名簿を見な
がら書いています。

昭和二五年四月三日の入学式に、
初めて女子七名入学とあります。

徳倉校舎へ移転の翌年小学科制
が導入され、その年より女子が男
子を上回ったと記載されていま
す。それ以降女子数が多いままに
現在に至っています。

私が入学した、三九年に初めて
女子が一〇〇人を超えたようで、
合格発表の当日、在校生の「女子が
一〇〇人を超えたわよー」と云っ
ていた声を覚えています。

制服で入学したところもありまし
たがそれなりに楽しい三年間です。

平成一八年に第五三回の懇親会
が六〇歳の節目の当番幹事年度に
当たり、前々年の秋頃より狩り出

され、そのまま同窓会事務局に居
着かされてしまいました。

若い会員の方々の中には「同窓
会活動とは何ぞや」と思われる方
もおおいとは思いますが一度、同
窓会総会・懇親会に参加してみま
せんか。自分が在籍していた学校
が今どんな風にならなっているの
かを知ること面白く思います。興
味もわきます。

小学科制となつて久しく、科名
もいろいろと変わり、同学年の横
の繋がりが希薄となり、以前に比
べ生徒数が減少しているのにも拘
わらず、知らない同期生が増えて
いると言うことは悲しいことです。

以前とは学習内容が変わつてき
ている以上、止むを得ないところ
もあるのかもしれませんが、寂し
いことでもあります。

皆さん、お誘い合つて参加して
下さい。横の繋がりを深めましょ
う。今のご時世、「そう言うことは、
嫌なのよ」と仰る方もおいででしょ
うが、人と繋つてみませんか。

ものの見え方が変わってくるか
もしれません。参加することで違
つた年代の方との結びつきを楽し
んでみませんか。同窓生同志言
いたいことを言い合ひましょう。

今、私達役員の年齢層も上がり、
若い会員の方々の「ギャップ」に
どう対処したら良いのか悩んでい
ます。お知恵をお貸し下さい。同
窓会として、在校生がいかに充実
した学習環境の中で学べるのか？

後押しができるのか？一緒に考え
て貰えませんか。

卒業以来この地を離れたままの
方も多いことと思いますが、年一
度送られる会報のみでの状況把握
だけでなく、自身の目で学校の今
を確かめてみませんか。是非、手
始めに「同窓会総会・懇親会」に
参加して、これからの同窓会発展
のための基盤となつてください。

崩壊した

原発安全神話



川口公文
(高一八回)

古今未曾有の東日本大震災によ
り被災された皆さんに心よりお見
舞い申し上げます。併せて殉難され
た多くのの方々のご冥福をお祈り申し
上げます。

周知のとおり、この地震は専門
家らの予測値を遙かに超える巨大
津波を発生させ、その破壊力は地
震動のそれより極めて大きく、人
的・物的被害は想像を絶するもの
だった。今後も続く不明家族の捜
索と避難生活、被災者の方々の心
に余りある。

さらに地震は福島第一原発事故

を誘発し、国内外、地上海中を問
わず放射性物質を撒き散らしてし
まった。しかもこの廃棄物汚染は、
いずれ私たちの身に降りかかつて
くるのだ。

かつて電力業界は事故の存在を
封じ込め、原発事故は絶対起きな
い、という安全神話を創ってきた
が、ここに原発安全神話は脆くも
崩れ去った。もしこの神話が本当
なら電気の巨大消費地、つまり東
京のど真ん中に造れば良いとい
うことになる。危険だからこそ補助
金をばら撒き、人心を懐柔して全
国の過疎地へ押し付けてきたのだ。
またCO₂を出さないから地球環境に
優しいというその神話の裏で膨大
な放射性廃棄物を生成するが、そ
の捨て場所もない。確保できない
のだ。因みに、広島原子爆弾で
燃えたウランの重量八〇〇グラム、
一〇〇万キロワット級原子炉一基
が一年で燃やす重量約一トン、比
べものにならない廃棄物の量だ。
そこで、少資源国と云う理由で、
使用済燃料を再処理して高速増殖
炉やプルサーマル化を目指すもの
の、青森県六ヶ所村の動燃「再処
理施設」は計画通り稼働せず、「も
んじゅ」は事故後一度も営業運転
出来ずストップしたまま、投下資
本はそれぞれ二兆円、合わせて四
兆円を超えたようだ。
そしてこの安全神話には「原子
力村」と云う政官財の巨大な利権
が存在する。彼らは、いわゆる御

用学者と報道と結託、互いに加担し世論誘導をしてきた。その一方で彼らは、開発当初から原子力の怖さを事実として訴え続けた多くの真の学者を社会の敵として長年排除してきたが、それは利権を守るための、まさに先の戦争へと世論誘導した「大本営発表」方式のやり方と同じ翼賛体制そのものではないか。国民を不幸のどん底へ陥れた歴史を繰り返させてはならない。

ところで、わが国の原子炉はいま五四基ある。事故前のエネルギー政策では原発依存度を五〇％と計画していたが、それは途方もない利権が動くということだ。が、事故後の報道各社の世論調査では、多くの国民が原発を望んでいて、国のエネルギー政策をいま一度検証する良い機会となっている。にもかかわらず財界は早々に原発推進を表明、そこには国民の安全より経済優先の態がありあり、全く嘆かわしいことだ。一方先進各国では原発の動きが急だ。

そもそも人間社会は不完全なもの、自然の猛威には為す術もないのが現実、「浜岡」を停めたのは適時、県民として大歓迎だ。

CO₂無しなら自然エネルギー、その代表格が太陽光発電、例えば全国の建物の屋根にこれを設置すれば三〇％超の電力を賄える。なぜ使ってこなかったのか？云うまでもなく「原子力村」の存在がある

からだ。為政者たちの仕事は国民の安全を守ることに尽きる。危険を承知で私利に走る「村」は徹底して壊すこと、それは国民の権利であり義務なのだ。

高校時代を

振り返って



杉山盛雄
(高二九回)

第二九回卒業の杉山盛雄です。今回機関誌「丸子の社」一〇号への寄稿を依頼された事に対し、若輩ですが、喜んで引き受けさせて頂きました。昭和三三年に生まれ、半歳くらいの時に右足に大病を患い、小中学校では短距離、長距離を問わず走ることが苦手でしたが、他のスポーツは人並み以上の成績を残すことができました。特に水泳は学校内で常にトップで、数々の記録を作ることができました。しかし、高校進学に際し、友人が多数希望する私学にお願いしたところ、右足の病気により願書を受け付けてくれず、泣く泣く県立沼津商業に入学を致しました。後で知った事ですが、中学からの柔道部の友人は、逆にその私学に誘われながら、私のことで断り、沼商に入ったそうでありました。その友

人からは一緒に柔道部に入部を勧められ、強くなりたいたいの思いで入部を決心しました。

同級生はほとんど有段者、先輩はインターハイ選手、そんな環境の中で初日から何度も気を失いながら、人間の限界を超えるような激しい稽古に何とかついていきました。腕立てや懸垂も中学では数回しか出来なかった私が、高校二年には百回・二百回は難なくこなせる様になり、逆立ちでグラウンド半周は歩けるようになり、人間の体のすごさを自分の体で知りました。三年になり試合に出るようになり、中堅を与えられました。友人の主将が先鋒で点を取り、次鋒のエースが勝ち、私はどんな相手でも負けない事が自分の役割でした。高校総体は確かベストエイトでしたが、前年から出来た町村大会では県大会優勝することが出来、高校生活最高の思い出となっております。

現在私は県議会議員として、沼津市民の代表として県に送って頂いております。すでに四期目の自民党議員として、前年は県連総務会長、本年は引き続き幹事長を拝命致しました。大学を卒業した年に自民党青年部に入り、地元の青年部長になり、県連の青年部長、県議会議員になって青年局長になりました。その間、様々な活動をして参りましたが、特に総理から教

りました。

「政治家は人のために汗をかき、手柄は人に譲る。」今後ともこの言葉を胸に沼商柔道部で鍛えられたあきらめない心を胸に頑張ってまいります。

最後に沼商卒業の際に山崎先生からいただいた言葉を紹介します。「一日一ミリ前進」

ちょっと「休み

ヒマに任せて平成一九年度の会員名簿から一体同窓生は何人くらいいるかと思ひ数えてみた。

結果は旧制・全日・定時制を含めて二万二千人あまりが数えられた。入学生全員となると二万七千人近い数となるが、数え直すと女子の方が全体で一〇〇人ほど多く、徳倉の卒業生が三千人以上多くなっている。

このことを謙虚に受け止め、同窓会の運営などに女子の意見も大いに参考にすべきと思ひ、運営する側にも、いままじ徳倉の卒業生の考えも取り入れる必要があるように思う。ただ、徳倉の卒業生は総会などにほとんど参加していないという現実もあるが…。

(ゆ)

私の青春



大塚智尋

(高六二回)

高校時代の思いでは、辛い事も楽しい事もたくさんありました。そのどれもがもう二度と経験することのないものばかりです。

まず始めに思い出として部活動があげられます。私は、陸上競技部に所属してました。そこで大事な仲間ができました。陸上競技は個人競技ですが、私は団体競技でもあると思います。それは、仲間からの支えが無ければ良い結果を残すことができないからです。弱気なっている時叱ってくれる仲間、辛いとき話を聞いてくれる仲間、入賞したときに一緒に喜んでくれる仲間。たくさんのおつき合いがありました。今では全てが大変な思い出となっています。

行事の思い出もたくさんあります。紫旆祭、修学旅行、遠足……。今でも鮮明に思い出すことができます。やはり、全ての思い出には多くの友達が関わってきます。笑ったりふざけあったり、一緒に泣いたり、時にはまじめに話をしたり。私と関わってくれた方たちに感謝しています。みんなが居なければこの思い出たちも違ったものになってしまう。本当にみんなありがとう。

日常生活でも三年間ずっと傍に

いてくれた友達がいます。その友達は私の大切な親友です。友達は一生物のときよく言われますが、まさにその通りだと思えます。私はその友達とこれからも付き合っていきたいものです。

沼津商業高校に入学して掛けがえのない毎日を過ごすことができず。高校生活に戻りたいと思うこともありません。それはきっとあの三年間がとても充実していたからだと思えます。入学して以来れば会うことのなかった友達がほとんどです。みんなに会えたことは運命だと私は思っています。三年間過ごした沼津商業高校は私の思い出そのものです。

私は現在、常葉学園短期大学の保育科生として毎日を過ごしています。私はこの進路は高校三年の六月に最終的に決めました。五月までは就職として希望を出してました。しかし、ある一人の先生に「保育の道は諦めたのか？それでいいのか？」と聞かれました。私はその先生にそのことを聞かれていなかったら今頃は就職していたでしょう。その言葉がきっかけで、私は保育への道へ進む決心ができました。それから、苦手なピアノを毎日やるようにし、受験勉強をしました。就職の友達が着々と決まって行く中、私も合格することができました。携わって下さった先生方に感謝しています。そして今年には私も就職活動の年となりました。悔いのないよう一日一日を過ごして行きたいです。

沼商で学んだこと



小林英里

(高六二回)

ついこの前、沼商を卒業したと思っていた私も、気がつけば社会人二年目に入りました。

私が入学当初に力を入れていたのは検定取得に向けてでした。誰もが高校に入って初めて学ぶ教科、そして当時先生が仰っていた「スタートラインは皆同じ」という言葉に励まされ、力を入れれば自分の得意教科にできるのではないかと思ひ、どの教科よりも勉強しました。わからないことはそのままにしないで納得するまで先生や友達に相談する。当たり前のことかもしれませんが、これは社会人になっても、大切なことだと思っています。テスト前には友達と自主的に勉強会をしたりもしました。教えあうことにより、自分の理解もより深まるのです。

そして私は生徒会長という役を経験しました。時には衝突もありましたが、いろいろな方に支えられ無事、最後までやり遂げることができました。現在、私は総務・金銭の仕事をしています。総務は人との関わりが多くありますが、その中でも動じず仕事ができるのは生徒会活動の中で培われたもの

だと思えます。人前に出るのがあまり得意でなかった私を変えてくれたのは沼商でした。

社会人として働いている私ですが、高校三年生の時は進路という大きな壁にぶつかりました。ですが困難な状況の中、先生方は私たちの志望を尊重し、実現するために最高のサポートを下さいます。あの時に悩んで悩んでよく考えたからこそ、今の私がいるのだと思えます。

仕事をするってやはり大変です。自分の好きなことばかりでできるわけではないし、なによりも責任というものがあります。ひとつの失敗で多くの人に迷惑をかけてしまうこともあります。ですが、失敗を恐れていたら何もできません。まずはしっかりと話を聞くこと、そしてがむしゃらにやるのではなく、自分で考えてから行動、挑戦すること。もちろんうまくいかない時もあります。落ち込むときもあります。ですがそれがバネにし、もっと効率のよいやり方はないか、次はこうしようと考え、そして成長できるのだと思えます。その成長過程があるからこそ、たいへんでも仕事を楽しみと思えるようになるのだと思えます。

私はまだまだ完璧に仕事をこなせるわけではありませんが、日々成長を目標に努力して行きたいと思えます。

支部だより

◆富士支部◆

「沼商ふじの会」活動状況

会長 坂本 實(高一・一回)

富士の会の運営方針も定着しつつあり、会独自の活動と併せ行政による活動にも参画してきました。また特別企画として身体に障害を持つ鳥袋勉氏の講演会では中学生を中心とした参加者と感銘を共有出来ました。六月の定時総会では萩本功氏(萩本欽一氏の長兄)の講演を聴きました。

九月に文化事業として、「立川文志と仲間たち」を開催。多くの協賛を得、成功裡に『打出し』となりました。文志師は本校の一回生です。

毎年四月に実施している『富士山ぶな林創造事業』は三月一日の大地震により延期となりましたが、開催時には参加の予定です。その間会員相互の親睦を図る二回のゴルフコンペを開催しました。

文化事業の収益の一部を富士市に寄託し、また会員有志による震災義援金をお送りしました。今後とも地道な活動を続け地域社会の一員として前進する所存です。

◆御殿場支部◆ 御殿場支部の近況

岩田 睦(高九回)

最近はその地区から沼商へ通う生徒も少なくなり会員が減少する一

方です。そんな中で高一・二回の嶋田泉太郎、一五回の長島要一、佐藤慎一、一七回青島孝明、一八回勝又義文等々御殿場市経済界の現役として頑張っております。そしてこれからも多くの先輩たちが培ってきた伝統を守り続けるよう頑張る所存です。

今年の八月一〇日の役員会で新たに勝又英男支部長が選出されました。

それにあわせて、四六回の杉山京太郎、高三回の前島保を始め、立道芳弘(高五)、鈴木総一郎(高六)、高柳正則(高七)、山崎博史・伊倉貞夫(高八)、勝間田道夫・荻野泰弘(高九)、小林成一・鈴木崇司・勝又幸憲(高一〇)などの多くの世話人を選出し、親睦を優先した楽しい支部の構築を目指して行きます。

◆裾野支部◆ 沼商ラグビーの誇り

渡辺 一男(高五回)

自衛隊のラグビーを強くする会に参加して、さる三月八日防衛省(市ヶ谷)で行われた「自衛隊のラグビーを強くする会」に参加した。この会の母体はBOB(陸上、海上、航空の自衛隊OB及び賛助会員)で森喜朗元総理の発声で誕生した。

総会は衆参両議院関係者、自衛隊幹部、賛助会員で構成され、中谷元防衛庁長官の司会で開かれた。コップを片手に歓談、名刺交換のなか、私の恩師である西山先生の話が飛び出したり、加藤金吾

さんの話も加わり、ラグビーを通じての交流を深め、いろいろな話で尽きない会であった。自衛隊のラグビーを強くしようを合言葉に来年を楽しみに肩を叩き合い散会となった。

私も母校、沼商ラグビーから経験したこと、学んだことが我が人生最高の宝物だと感じている。

裾野市でも今年から小学生の体育の時間にタグラグビーを取り入れるとのこと。心身共に鍛えられれば最高である。裾野市のラグビーフットボール協会の協力は惜しまない所存である。

◆熱海支部◆

今年の支部総会について

支部長 志方日出太郎(高一・二回)

毎年三年生の卒業時に合わせ、支部役員の尽力により、三月一七日に向かって準備をしていた今年の総会は、あの大規模な東日本大震災に伴う計画停電等、時節を考慮し、やむを得ず延期となりました。新たな新入会員の皆様には、大変申し訳なく思っております。

また、最近熱海出身の卒業生の多くが、市外に転出してしまっており、支部活動も限られたものとなっております。そんな中で支部役員の皆様には、毎年の支部総会を始め、市内行事等への参加協力につきましては、ご尽力いただき深く感謝しております。

特に近年は女性会員の出席が目立ち、現在の沼商の状況を物語っ

ており、女性の活躍の一助にもなっているとされます。

今後は、特に出席の少ない状態の二〇代、三〇代の男女会員の出席を勧誘して行きたいと思えます。

◆定時制部会◆ 平成二三年度の活動報告

部会長 谷口輔朗(第二商業二回)

定時制部会の平成二三年度の活動は、七〇年の歴史を閉じることになった閉課記念事業です。

昭和一七年四月に沼津の横山定氏の浄財と熱意によって、働ながら勉強ができるという画期的なシステムの、第二商業という夜間の中学ができました。

しかし、時代の流れにより、子供の数も減少。働きながら苦勞して勉強することが若者の間で敬遠されるようになり、二千有余の卒業生を輩出した沼商定時制も、その使命を終え遂に閉課されることになりました。

沼商定時制が培った負けじ魂は、ここに永遠に残ってほしいとの思いから、閉課記念碑の建立に始まり、閉課式典、記念碑の除幕式。沼商定時生みの親の横山定氏とそのご子息開一氏への感謝の法要を行い、さらに第二商業第一期生鈴木緑郎先生の記念講演会、記念同窓会と盛大に行事ができました。

定時制はなくなりりましたが、伝統ある沼商同窓会の一員として、その名に恥じないようこれからも活動して行きたいと考えています。

母校この一年

学校の現状

◆年度末異動

●転出等

笹原正和校長 (静岡商業高長)
 芹澤雅之教頭 (戸田中学校長)
 諏訪部俊光教頭 (裾野高教頭)
 武藤千明 (三島北) 鈴木里佳 (富士特別支援) 八木みどり (沼津西)
 江間啓之 (東部危機管理局) 鈴木崇彦 (下田) 鬼木英継 (御殿場)
 山本重典・佐藤浩雄・鈴木則昭 (伊豆総合)

●転入等

高田道雄校長 (清水東)
 児玉一淑教頭 (総合教育センター)
 森脇啓文 (三島北) 塩川光史 (吉原工業) 高島由美子 (沼津西)
 湯川司 (土肥) 望月信男 (稲取)
 渡邊梓・日野信太郎 (新規採用)
 池ヶ谷和晶・森田一 (講師)
 大塚智美 (事務)

◆生徒在籍数 (五月一日現在)

生徒数 六五八名
 (男二二六 女四二二)
 一年生 二〇五名
 二年生 二二三名
 三年生 二三〇名

◆設置学科

●国際ビジネス科
 ●会計コース
 ●経営コース
 ●コミュニケーションコース
 簿記や情報処理及びマーケティング

グの基礎・基本を身に付け各コースで商業の各分野をより専門性を深めた学習を進めます。

●情報ビジネス科

・システムコース
 ・ネットワークコース
 ・マルチメディアコース
 情報処理関係の基礎・基本を身に付け、国家試験合格を目指して学習を進めます。

◆主なコースと資格取得

・会計コース → 日商簿記二級
 ・システムコース
 ↓ 基本情報技術者試験
 ↓ 応用情報技術者試験
 ・ネットワークコース
 ↓ ITパスポート試験

◆資格取得状況 (二二年度卒)

●国家試験合格者
 応用情報技術者試験 一名
 基本情報技術者試験 八名
 ITパスポート試験 三二名
 ●商工会議所検定試験合格者
 簿記二級 三五名

●全商主催検定一級合格者

6種目合格者 二名
 5種目合格者 一四名
 4種目合格者 二五名
 3種目合格者 五二名
 計 九三名

◆進路状況 (二二年度卒)

●主な進学先
 ▽国公立：静岡県立大
 ▽私立：日本大・専修大・東海大
 帝京大・城西大・東京経済大・流通経済大・神奈川大・拓殖大・神

奈川工科大・文教大・文京学院大
 関東学院大・横浜商科大・名古屋商大・静岡産業大・静岡福祉大・天理大・沖繩大
 進学者三九名

●主な就職先

東京電力・関電工・日立ソフトウエア・日立RAID・三菱アルミ
 関東自動車・共和工機・国産電機
 JR東海運輸・伊豆箱根鉄道・JA三島函南・スワベ商会・南駿農協・沼津信用金庫・三島信用金庫
 三島オリンパステルモ・佐川急便
 協和医科機械・米久・内野商店・裾野カントリー・鈴与ガス・五十嵐水産・橋本総業・木村商事・東洋印刷・富士市役所・その他

◆第34回 沼商・沼東野球定期戦

就職者七九名
 新人戦 沼商3対3 沼東
 定期戦 沼商6対4 沼東
 OB戦 沼商3対2 沼東
 ◆第十一回 校内短歌コンクール
 明石海人賞 (最優秀賞)

この祈り
 潮風となりいくたびの
 荒波越えて光明となれ
 (震災にあそぶ)

石川美季 (三年)

活躍する 陸上競技部

私たち陸上競技部は、一人ひとり個性にあふれていて、とても楽しい部活です。努力は資質を上回り、気力は実力を越える。これが陸上というスポーツの魅力です。部員の中には初心者の方も何人かいます。しかし、先生のご指導のもと、毎日一生懸命練習をしていくため、経験者に負けずに力が高めています。やる気と努力次第で記録が伸びるのも、陸上競技の良いところですね。練習がきついてもあるけど、みんなで乗り越えてきました。目標は「全員で県大会出場」です。応援よろしくお願

顧問 安田・宇佐美・高橋ちさと
 部長 鶴見歩太 (二年)



Numasho
<http://www.numasho.jp>
 ホームページに
 みんなで
 アクセスしよう!



勢揃いした陸上競技部員

活躍する在校生
大会記録
(22年8月~23年7月)

運動部

◆県大会出場

●陸上競技部

新人戦(9月)

走高跳 橋本美沙子 県9位

走幅跳 青木絵里香 県15位

100mH 豊長 美紀

高校総体(5月)

走高跳 橋本美沙子

走幅跳 青木絵里香

100m 青木絵里香

400mH 豊長 美紀

4×100mR

三浦・木田・橋本・青木

選手権(7月)

走高跳 橋本美沙子

走幅跳 青木絵里香

100mH 豊長 美紀

4×100mR

三浦・木田・橋本・青木

●弓道部

秋季大会(10月)

団体 県4位

個人 加藤明咲美 県4位

鴻野 希 東部4位

秋山 紅葉 東部5位

新人戦(11月)

団体Aチーム 東部1位

個人 蓮池 歩未 東部1位

金崎 夕姫 東部8位

高校総体(5月)

団体 県8位

個人 西家沙友里 東部6位

井澤 和美 東部7位

●ソフトテニス部

新人戦(10月) 団体

高校総体(5月) 団体

●バレー部

選手権(11月) ベスト8位

新人戦(2月) ベスト8位

高校総体(5月) 3位

●女子バスケット部

選抜大会(10月) 東部3位

新人戦(1月) 東部3位

高校総体(5月) 東部3位

●男子バスケット部

選抜大会(10月)

●バドミントン部

選手権(8月) 小林 光

女子シングルス

●卓球部

新人戦(11月)

団体(男子) 東部10位

シングルス 千須和将貴

高校総体(5月)

団体(男子) 東部10位

ダブルス 相原・中田組

シングルス 芹沢 亮司

●ホッケー部

選手権(4月) 優勝

●サッカー部

選手権(9月)

◆東海大会出場

弓道部 金崎夕姫・石井千尋

国体(8月) 鴻野 希

●バレー部

新人選抜(1月)

高校総体(6月)

ホッケー部

国体(8月) 2位

選抜大会(1月) 3位

高校総体(6月)

◆全国大会出場

ボーリング

選抜大会(5月)

森 由尋(二年生)

文化部

◆県大会出場

商業科実務競技会(9月)

電算機部

情報処理 A部門

団体 2等1席

個人 坂田 真美 2等2席

個人 青山英里香 3等1席

情報処理 B部門

団体 2等2席

個人 高嶋 美彦 3等2席

個人 大庭 諒 3等2席

英文ワープロ 団体 3等3席

珠算部 団体 3等3席

個人 茶田さわ香 3等1席

美術部

第二部門 個人 瀧本玲奈 優勝

●吹奏楽部

吹奏楽コンクール(8月) 銀賞

アンサンブルコンテスト(1月) 銀賞

クラリネット四重奏 銀賞

金管八重奏 銀賞

●電算機部

全国高校情報処理競技会(6月)

団体 優勝

個人 準優勝 青山英里香

3等1席 飯田 弘善

全国高校ワープロ競技会(6月)

団体 3等1席

個人 渡邊菜夕 3等3席

全国高校珠算電卓競技会(6月)

団体 3等2席

個人 大庭 諒 3等3席

◆東海大会出場

実務競技会(11月)

電算機部

情報処理

団体 2等2席

個人 青山英里香 2等3席

英文ワープロ

団体 3等2席

個人 鈴木さやか 佳良

電卓 個人 大庭 諒

珠算部 団体

個人 茶田さわ香 佳良

簿記部 個人 水本 朱香

個人 室伏ゆかり

◆関東甲信越中部地区高校簿記競技大会(9月)

一年の部 個人 渡辺健太郎 1位

二年の部 個人 室伏ゆかりの 1位

個人 渡邊 玲良 3位

団体 優勝

総合の部 4位

◆全国大会

●電算機部

全国高校情報処理選手権(8月)

団体 優勝(2連覇)

全国高校情報科学競技会(3月)

IP部門

全国高校情報処理競技会(7月)

●吹奏楽部

全日本吹奏楽祭(11月)

事務局だより

今年も一九八名が 新会員に

平成二三年三月、全日制一九四名(女性一三五人・男性五九人)・定時制四名(男女各二名)が新会員として登録されました。

同窓会会計報告

平成22年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算報告書
平成22年4月1日-平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	2,449,286	会費	1,804,511
期取利息	2,631,940	雑費	119,890
受取利息	595,000	雑費	57,750
受取利息	497,000	雑費	35,000
受取利息	802,377	雑費	895,802
受取利息	91,187	雑費	114,389
受取利息	156,611	雑費	102,948
受取利息	378	雑費	747,750
受取利息	11,436	雑費	68,250
合計	7,235,215	合計	7,235,215

平成22年度 沼津商業高等学校同窓会育英基金決算報告書
平成22年4月1日-平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	96,946,831	22年度育英基金	1,000,000
基金繰り戻し金	113,844	育英基金(172名)	1,500,000
基金繰り戻し金	2,386,156	基金繰り戻し金	2,000,000
22年度期間収益	658,079	基金繰り戻し金	95,604,910
合計	100,104,910	合計	100,104,910

平成22年度 沼津商業高等学校同窓会基金会計決算報告書
平成22年4月1日-平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,384,638	育英基金	2,499,625
期取利息	253	育英基金	1,281,266
受取利息	396,000	合計	3,780,891
育英基金	2,000,000	合計	3,780,891
合計	3,780,891	合計	3,780,891

平成22年度 沼津商業高等学校育英基金会計決算報告書
平成22年4月1日-平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	33,706,275	平成22年度奨学金	2,500,000
奨学金返還金	710,392	次年度繰越金	32,875,568
後援会貸付返還	600,000	合計	35,375,564
合計	35,375,564	合計	35,375,564

今年も奨学金・育英基金を
在校生に支給・貸与
在校生の学業支援・部活動の活躍を目的に今年も在校生一五名に奨学金を支給しました。
また、五名の大学進学者に育英基金(阿部奨学金)を貸与しました。

**東日本大震災に
同窓会が義援金:**
マグネチールド九の大地震、一部で高さが四〇メートル越えた大津波と福島第一原発の損壊。
これにより東北地方の太平洋沿岸部が壊滅状態となりました。陸前高田市、南三陸町、気仙沼市、石巻市など見る影もありません。
福島第一原発の損壊は、我が国の今後のエネルギー(電力)政策を見直さなければならぬほどの事態となっています。
放射線は風に流され、世界中に広がっているようですが、静岡市でもお茶の葉から放射線が確認され一時大きな話題となりました。
家族や家や職場を失った被災者の多くが避難生活を送っています。
同窓会では義援金として百万円を日赤に託しました。こうした被災者・被災地の日も早い復興を願わずにはいられません。
静岡新聞の報道

義援金100万円寄付
沼津同窓会
東日本大震災の被災者に対し、0.0万円を寄附し、被災者支援に努めます。
高橋副市長に目録を手渡す小池会長(左から3人目)
沼津市役所

富士山植樹祭奉仕活動に参加
晴天に恵まれた四月二十九日、柿田川涵養林保全のため例年通り、裾野市須山の浅木山での植樹奉仕作業に参加しました。
植樹祭には会長はじめ学校長、現役生徒など二八名の参加となり、本校は「鹿」から苗木を守るという作業を任せられ、全員汗を流しました。

沼商OB美術展を開催
第七回沼商OB美術展が今年も六月一日(木)より六月二二日(水)まで沼津市大手町のしずぎんギャラリー「四季」で開催されました。
作品は、絵画・版画・書道・工芸・写真と多岐にわたる五八点が出品されました。本年は恩師で書家の鈴木緑郎先生の書が加わり一段と充実したOB美術展となりました。今後もOBならどなたでも出品できます。同窓会事務局までお問い合わせ下さい。大歓迎です。
来年も同じ会場で六月七日(木)から一三日(水)まで開催の予定です。

第五十九回 総会と懇親会
「世代を越えて広がる同窓の和」
左記の日程により総会・懇親会を開催いたします。世代を越えた同窓の和を目指して、数多くの同窓生の参加を期待しております。
記
平成二四年一月二五日(日)
沼津キャッスルホテル
受付 一二時三〇分より
総会 一三時三〇分より
講演会 一四時四〇分より
講師 「私と沼商」
磐田市長
渡部 修(二二回生)
懇親会 十六時~十八時
会費 七〇〇〇円
(但し、事前振込の場合は六五〇〇円)
申込方法、新聞広告掲載希望など折り込みの案内をご覧下さい。

年会費納入にご協力を
沼商同窓会はみなさんの会費により運営されています。
去年、複数口納入制度の導入結果、三割近く増額されました。
在校生の教育環境の改善、学業支援などのため、今年も年会費(複数口)納入にご協力下さい。